

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会 加入のお願い

菓子業界では昨年のTPP合意を受け、農林水産大臣に、業界が取組む輸出拡大に対する国の支援を要請した。その後、国の理解と指導を得て、このほど国の支援策の受け皿となる菓子の輸出促進団体を設立することとなった。

これは設立趣意書(別項参照)にもあるように全日本菓子輸出工業協同組合連合会を発展的に改組して菓子業界挙げての受け皿とするもの。設立する団体の組織及び事業の概要は、別項通りを予定している。組合員の皆様で、菓子の輸出に関心がある方は問い合わせていただきたい。

〇問合先

全日本菓子協会専務理事・奥野和夫、電話：03-3431-3115、FAX：03-3432-1990、メール：anka1@nifty.com

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会 設立趣意書

我が国では少子高齢化が他の国より速いペースで進行しており、今後国内の食市場は縮小すると見込まれています。一方で世界に目を向ければ、日本と距離が近いアジアを中心とした新興国では経済成長、人口増加が進んでおり、世界全体の食市場は平成21年(2009年)の340兆円から平成32年(2020年)に

は680兆円まで倍増すると推計されています。

我が国のおいしくて、安全な食品は世界において高い評価を受けており、「食」をテーマとするミラノ万博での成功や海外での日本食レストランの増加、更には訪日外国人が平成27年(2015年)には年間1,974万人と過去最高を記録し、日本の食品が多く購入されるなど、日本の食品に対して追い風が吹いています。

このような中で、農林水産物・食品の輸出額は着実に伸びており、平成25年(2013年)から3年連続で過去最高を記録し、平成27年(2015年)の輸出額は7,451億円と平成28年(2016年)に7,000億円という国が定めた

中間目標を1年前倒しで達成しました。

国は、農林水産物・食品の輸出額を平成32年(2020年)に1兆円に拡大することを目標としてきました。

我が国のおいしくて、安全な食品は世界において高い評価を受けており、「食」をテーマとするミラノ万博での成功や海外での日本食レストランの増加、更には訪日外国人が平成27年(2015年)には年間1,974万人と過去最高を記録し、日本の食品が多く購入されるなど、日本の食品に対して追い風が吹いています。

このような中で、農林水産物・食品の輸出額は着実に伸びており、平成25年(2013年)から3年連続で過去最高を記録し、平成27年(2015年)の輸出額は7,451億円と平成28年(2016年)に7,000億円という国が定めた

中間目標を1年前倒しで達成しました。

我が国では少子高齢化が他の国より速いペースで進行しており、今後国内の食市場は縮小すると見込まれています。一方で世界に目を向ければ、日本と距離が近いアジアを中心とした新興国では経済成長、人口増加が進んでおり、世界全体の食市場は平成21年(2009年)の340兆円から平成32年(2020年)に

第3回 乳製品(バター)需給等情報交換会議

ホクレン農業協同組合連合会より「北海道の生乳生産動向について」の説明があった。

28年の1日当たりの生乳生産量の推移だが、前年対比の増減は、本年度は2%後半ぐらい伸び率で出発した。この背景は、頭数的には変わらなかったが、27年度の北海道は、牛の飼となる良質な草が取れたので、頭当たりの乳量が増えた。ただ、7月下旬以降は気温が一気に上がって、伸び率が鈍化し、8月下旬の台風もあって、前年水準を下回

った。その後は、徐々に回復基調にある。今後の見通しだが、ほぼ前年並みに近い水準になる。今後の取り組みは、今年は春先から雨が多く、暑さや台風もあり、草の生育や収量、品質に影響がでた。地域間の格差がある。粗飼料を広域域流通して、不足しているところには輸入手当で手当てする。続いて、意見交換では、次のような意見があった。

▽ホクレン農業協同組合連合会
川上から川下まで色々な

間が一丸となって輸出促進に取り組むこととされました。

国は、農林水産物・食品の輸出額を平成32年(2020年)に1兆円に拡大することを目標としてきました。

我が国のおいしくて、安全な食品は世界において高い評価を受けており、「食」をテーマとするミラノ万博での成功や海外での日本食レストランの増加、更には訪日外国人が平成27年(2015年)には年間1,974万人と過去最高を記録し、日本の食品が多く購入されるなど、日本の食品に対して追い風が吹いています。

全日本菓子工業組合連合会

バターの値段は高いが、供給はある。情報提供をお願いしたい。乳房炎の影響はまだ少し残っているが、今後落ち着いてくると思う。

日本パン工業会

バターは十分な量が供給されている。ただ、一時期国産が手に入らず、代替品に原料を切り替えたので、原料を元のバターに戻すのは難しい。

JMILK

9月の見通しに比べると、生乳生産量は上回っているが、飲用向けも上回って推移している。

▽日本乳業協会

組まれてきており、全日本菓子輸出工業協同組合連合会においては、JETRO及び農林水産省の協力を得て、毎年海外において展示・商談会等に参加してきています。

今後、国の輸出強化の取組みに沿って、菓子の一層の輸出拡大に向けた取組みを強化していくために、全日本菓子輸出工業協同組合連合会を発展的に改組して、農林水産省、JETRO等の輸出関連施策を積極的に活用していくための菓子業界を挙げての品目別輸出団体の設立が必要となつていきます。

このような趣旨で一般社団法人全日本菓子輸出促進協議会を設立いたしますの菓子メーカー、菓子の製造企業及び菓子の製造企業で組織する全国菓子関係団体の皆様へ

全日本菓子輸出促進協議会

設立は、全日本菓子協会事務局の所在地(東京都港区新橋6-9-5JBビル7階)で行い、その後、独自の事務所を港区内に置くこととする。

3. 会員

菓子の製造企業及び菓子の製造企業で組織する全国菓子関係団体の皆様へ

1. 名称

一般社団法人 全日本菓子輸出促進協議会

次回の企業及び団体に幅広く加入を募る。

和夫 全日本菓子輸出工業協同組合連合会理事長・小高愛二郎

全日本菓子協会会長・川村 設立発起人

全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

2. 事務所所在地

設立は、全日本菓子協会事務局の所在地(東京都港区新橋6-9-5JBビル7階)で行い、その後、独自の事務所を港区内に置くこととする。

3. 会員

菓子の製造企業及び菓子の製造企業で組織する全国菓子関係団体の皆様へ

4. 会費

入会金5万円、年会費15万円

その他の菓子の輸出に関心のある菓子製造企業から選任、会員以外から2名選任可)

理事・10名以上20名以内(会員から選任、会員以外から2名選任可)

専務理事・1名(全日本菓子協会専務理事兼務)

常務理事・1名(全日本菓子輸出工業協同組合連合会事務局局長兼務)

7. 総会、理事会等

(1)総会・毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する定時総会及び必要に応じて開催する臨時総会とする。

6. 役員等

(1)協議会に次の役員を置く。

5. 事業

国の助成事業、委託事業に積極的に応募して、国の輸出戦略実行委員会が定めた菓子の輸出拡大方針に沿いながら、以下の事業に取り組む。

・全日本菓子協会会員企業57社(うち14社は輸出組合加入)

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

・全日本菓子輸出工業協同組合連合会及び傘下企業45社

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

4. 会費

入会金5万円、年会費15万円

3. 会員

菓子の製造企業及び菓子の製造企業で組織する全国菓子関係団体の皆様へ

2. 事務所所在地

設立は、全日本菓子協会事務局の所在地(東京都港区新橋6-9-5JBビル7階)で行い、その後、独自の事務所を港区内に置くこととする。

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

・全日本菓子輸出工業協同組合連合会理事長・小高愛二郎

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

・全日本菓子輸出工業協同組合連合会事務局局長兼務)

7. 総会、理事会等

(1)総会・毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する定時総会及び必要に応じて開催する臨時総会とする。

6. 役員等

(1)協議会に次の役員を置く。

5. 事業

国の助成事業、委託事業に積極的に応募して、国の輸出戦略実行委員会が定めた菓子の輸出拡大方針に沿いながら、以下の事業に取り組む。

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

関東甲信越ブロック会議

全東連関東甲信越ブロック会議が、10月20日(金)15時から茨城県ひたちなか市ホテルニュー白亜紀において1都9県の理事長等46名が参加して開催されました。

冒頭、茨城県菓子工業組合平子副理事長の開会の挨拶、面澤アロックス幹事長及び全東連大窪理事長の挨拶、菓子博開催地である三重県菓子工業組合副理事長及び三重菓子博実行委員会濱田委員長の挨拶に引き続き、組合功労者に対する関東甲信越アロックス幹事長表彰(茨城県菓子工業組合面澤理事長)が行われ、栃木

県・大塚秀夫氏、群馬県・石川久行氏、千葉県・鈴木豊彦氏、山梨県・鈴木浩文氏、埼玉県・梶野八氏、茨城県・根本高行氏の6名が表彰されました。

全東連からの報告事項は、他のブロックでの報告事項に加え、消費者庁と農林水産省が主催して検討を進めている加工食品の原料原産地表示のあり方について、最終とりまとめに向けて従前より踏み込んだ方向が検討会に提示され議論が行われた件及び厚労省が検討を進めていたHACCPの制度化について、10月14

日「食品衛生管理の国際標準化に関する検討会中間とりまとめ」が公表され、17日から11月15日の間パブリックコメントに付されている件について、その内容と影響、菓子業界としての対応方針等について説明されました。

各県よりの近況報告及び提案事項として、山梨県より今回の褒賞の審査は大変だと思いが、我々が出品者に納得してもらえ説明ができるように透明性のある審査をしていただきたいとの要請がありました。これに対し、三重県の副理事長から、ご指摘のような審査とすべく関係者で話めており、特に今回は、これまでと異なり消費者等による

審査も実施し、透明性を高めることとしている旨の説明がありました。また、新潟県歴史博物館で7月15日から9月4日まで行われた企画展「お菓子と新潟」の関連事業として、平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業の助成金775万円を受け、歴史博物館、新潟県菓子工業組合等が主催、新潟県和菓子協会の共催で「お菓子文化が結ぶ地域共働連携事業」を実施した。内容は和菓子の魅力を伝える講演会、和菓子職人のわざ実演、和菓子作り体験、お茶とお菓子のおもてなし等ですが、延べ1万4千人の親子連れなどが訪れ和菓

子に対する関心の強さを感じたとの紹介がありました。(10月の菓子工業新聞に詳細が載っています)

次いで、お伊勢さん菓子博濱田委員長より菓子博の準備状況の説明、近鉄百貨店、ヤマト運輸、近畿日本ツーリストから説明が行われました。

最後に、次期開催地の長野県菓子工業組合木内副理事長の挨拶、茨城県菓子工業組合稲野常務理事の閉会挨拶をもって会議を終了しました。その後、ブロック理事長会議が開催され、お伊勢さん菓子博の各県展示アロックスの配置、経費負担等が協議決定されたとのこと。

・全日本菓子協会専務理事・奥野和夫

・全日本菓子輸出工業協同組合連合会理事長・小高愛二郎

食品の技能比較試験のご案内

(平成29年第1回 栄養成分)

日本食品衛生協会食品衛生研究所

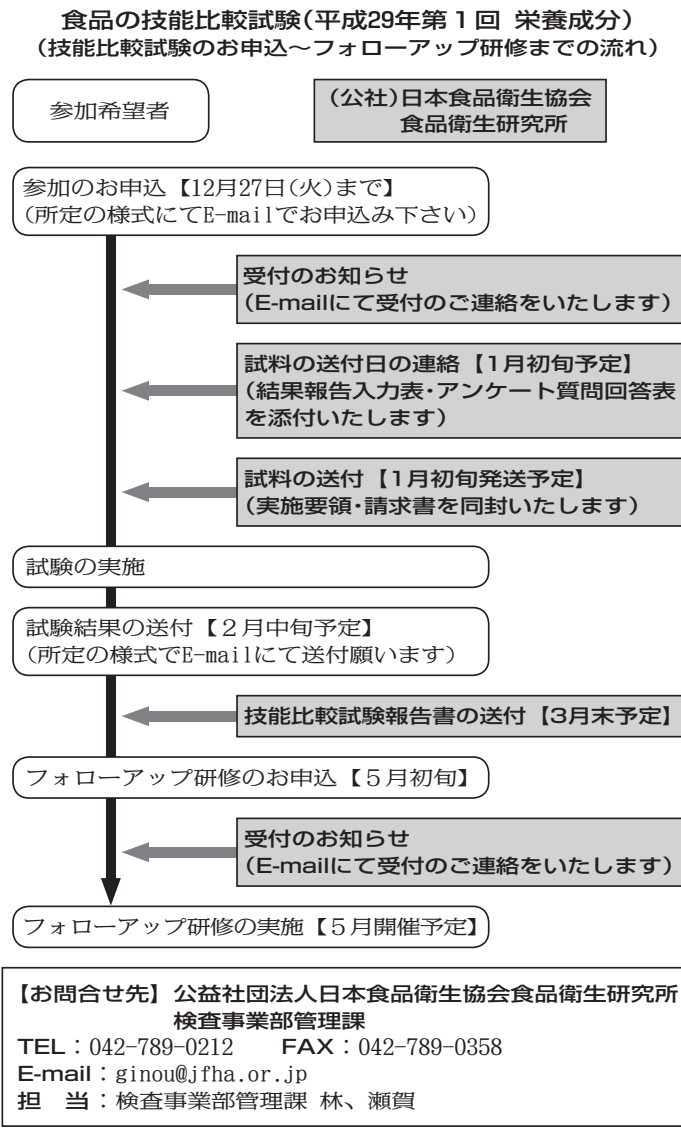
公益社団法人日本食品衛生協会 食品衛生研究所
能比較試験を開始いたしました。平成28年より食品の技能比較試験では、1

試験結果を解析、比較することにより客観的な評価を行います。技能比較試験への参加は、試験所の試験結果の正しさを客観的に評価し保証する手段であり、信頼性の向上、改善のためにご利用いただくことができます。

また、報告書発送後に、試験結果の解説、試験方法のポイントを分かりやすく解説するフォローアップ研修会の開催および試料の販売を予定しています。

【技能比較試験日程(予定)】
参加申込締切：平成28年12月27日(火)
※定員を満了した場合、受付終了となります。
試料の配付：平成29年1月初旬
結果提出期限：平成29年2月中旬
報告書の発送：平成29年3月末

【技能比較試験参加費用】
食協会員・特別会員：20,000円、一般：25,000円
(いずれも税込み価格です、フォローアップ研修会参加費を含みます)
【フォローアップ研修会日程】
開催日時：平成29年5月開催予定
会場：食品衛生センター東京都渋谷区神宮前2-6-1
参加費：技能比較試験参加者：無料
食協会員・特別会員：2,000円、一般：3,000円
(いずれも税込み価格です)
【申込方法】
専用申込用紙を <http://www.r-stoket.jp/houjin/laboratory/news/sinouthakushiken2901.html> にてお申込みください。



食品衛生表彰

菓子関係者多数が受賞

厚生省、(公社)日本食品衛生協会主催による第61回「食品衛生表彰の会」が10月21日、東京・明治座で開かれ、菓子関係者多数が食品衛生功労者及び食品衛生優良施設として、厚生労働大臣賞ならびに日本食品衛生協会会長賞を受賞した。同表彰の会で厚生労働大臣賞を受賞された食品衛生功労者は20名、同優良施設は108施設、日本食品衛生協会会長賞を受賞された食品衛生功労者は三四名、同優良施設は二六施設であった。受賞された菓子関係者は次のとおり。敬称略。

- 厚生労働大臣賞受賞者**
- 食品衛生功労者**
- ▽青森県 大竹正美、村上精司、▽岩手県 小林昭二、鈴木勝太郎、▽宮城県
 - ▽森保次、▽秋田県 鈴木勝博、▽山形県 深澤勝洋、▽茨城県 高庭正、大貫茂夫、▽群馬県 大越正禎、▽埼玉県 小川政男、関口俊一、▽東京都 小日向辰

- 雄、▽新潟県 恩田英直、▽富山県 田中武久、井波博雄、▽三重県 中里二三、▽兵庫県 南和正、辻康信、▽鳥取県 田部浩之、▽広島県 今岡寛信、▽徳島県 林勝、立石博、▽愛媛県 浅野和雄、▽福岡県 渡邊憲治、▽長崎県 一瀬優、▽熊本県 濱田治男、▽大分県 佐々木勝、▽鹿児島県 本吉原明、増尾英機、▽横浜市 合志光紀、石川邦夫、▽川崎市 鈴木映史、富田勇二、▽名古屋市 青山修、伊与田文郎、▽大阪市 多田龍弘、原幹雄、▽広島市 藤谷道子

- 食品衛生優良施設**
- ▽埼玉県 タワーベーカリー(株)、▽千葉県 モロゾフ(株)船橋工場、▽富山県 日の出屋製菓産業(株)立山工場、▽福井県 杉本清味堂、▽岐阜県 梅乃井、▽愛知県 スギ製菓(株)、▽兵庫県 谷常製菓、総本家かん川、▽和歌山県 和歌山県農業

- 日本食品衛生協会会長賞**
- ▽福島県 吉山文雄、▽茨城県 青野潔、▽群馬県 堀越芳春、▽東京都 福本義一、▽神奈川県 館園好、▽新潟県 吉田邦明、▽福井県 丸岡正俊、▽山梨県 渡辺豊、▽静岡県 山内康司、▽愛知県 早川

- 食品衛生功労者**
- 勝博、鈴木憲一、▽大阪府 井美広正、岸谷正純、桐山健一、▽奈良県 吉村博、笹井義幸、▽鳥取県 小椋理佳、▽山口県 小熊坂孝司、▽徳島県 大浦和夫、▽香川県 土居保夫、▽愛媛県 寺町辰昌、▽高知県 松岡良定、▽長崎県 北村豊、富重正美、大村勝、▽熊本県 浅井茂宏、那須

- 食品衛生優良施設**
- ▽北海道 ㈱サンワール、▽宮城県 ㈱菓子職人、▽山形県 ㈱東根菓子舗、▽福島県 菓子処豊田屋、甘盛堂、▽栃木県 ㈱香雲堂本店中工場、▽東京都 TORAYA CAFE 表参道ヒルズ店、▽新潟県 亀田製菓(株)白根工場、菓子竹、▽富山県 社会福祉法人むつみの里、▽石川県

【試験項目】水分、たんぱく質、脂質、灰分、ナトリウム

【試験試料】魚肉加工品(缶詰)

【試験方法】栄養成分等の分析方法等(平成27年3月30日消費第139号通知「食品表示基準について」別添)

【試験結果の評価方法】ロバスト平均及び標準偏差に基づくZスコア

【お問合せ先】公益社団法人日本食品衛生協会食品衛生研究所 検査事業部管理課
TEL：042-789-0212 FAX：042-789-0358 E-mail：ginou@jpha.or.jp
担当：検査事業部管理課 林、瀬賀

信頼される安心を、社会へ。 **SECOM**

セコムの「ファシリテイマネジメント」サービスのご案内

建物の資産価値を長期的に維持する、効果的な総合管理サービスをご案内します。

建物のメンテナンス

建物の維持に欠かせない設備の点検及び改修工事を行います。

- 消防用設備
- 空調設備
- 昇降機設備
- 給排水設備
- 電気設備
- その他設備

ご契約先建物

異常発生時の駆け付け

異常が発生した際は、ご契約先の建物に駆け付けて適切な処置を行います。

ご契約先

- ①設備トラブル(オンコール)
- ②対応指示
- ③現地対応

テクノ・オンコールセンター

- ①設備異常信号(オンライン)
- ②対処指示
- ③現地急行

警備のプロ

セコムオンラインセキュリティ契約

メンテナンス契約

セコム株式会社 テクノ事業本部 ファシリテイマネジメント営業部

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-25-5 久米ビル
http://www.secom.co.jp/ ☎03-5759-7857